

第4回 三重県立白山高等学校「学校運営協議会」 概要

令和元年9月20日(金)15:30~16:30

出席者(15名)

運営協議会委員：岩崎、山下、植田、坂本、宇陀、赤塚、

白山高校職員：丸山、渥美、山口、齋藤、濱地、川瀬、友定、川本、谷

1 あいさつ

白山高等学校長 9月16日から就職試験が始まります。本校は例年就職7割、進学3割という状態です。53名が既に試験が終わり、内定となっている生徒も出てきています。卒業までには全員の進路保障ができるよう取り組んでいきたい。

10月より、全ての県立学校で機械警備が導入となります。警備会社が管理し、休日には校内は無人になります。

指導主事 今回、インターンシップを見学することを楽しみにしていました。それは、総合的な探求の時間におけるキャリア教育だからです。新学習指導要領が令和4年度から全面实施となりますが、総合的な探求の時間においては今年度から先行実施となっています。「一人一人が自分で課題を見つけ解決していく」能力を身につけることが求められますが、これはキャリア教育に結び付くところがあり、高校に在学しながら地域、職業の現場、社会、大人と繋がることは、生徒が社会に飛び立つときの大きな財産となります。白山高校の7割の就職希望者にとって、この経験は大きな強味となるはずですが。

これからも、総合的な探求の時間をはじめとした学校全体のキャリア教育を社会との結びつきにおいて推進していただきたい。

2 自己紹介

3 報告事項

特になし。

4 協議事項

(1) 白山高等学校のキャリア教育について

3年生普通科「総合的な探求の時間」：地域の事業所にて、職場実習（長期インターンシップ）を実施

【各実習場所の担当教員から、仕事内容や生徒の様子など報告】

- 家城小学校・・・小学校1年生が6人で本校実習生も6人なのでマンツーマンでの実技活動になることが多い。
- 一志病院・・・入院病棟において、食事・入浴・排泄の介助と車椅子での移動を行います。2グループに分かれて7~8日間の体験で、戸惑うことも多いがよい実習になっている。
- やまちょう・・・商品の陳列・発注やイベントの準備を行っている。生徒は、生き生き作業している。
- 花みやび・・・今年より新規で一人がお世話になっている。花のラッピングや清掃を行っている。

- 栽培・・・・・・・・・・校内での活動で、菊を栽培して地域に配布するとともに、畑ではサツマイモ、大根、落花生も栽培している。土を触る、虫やカエルとの触れ合いなど、今までできなかった体験をしている。
- 福山自動車・・・・・・・・大変長い間お世話になっている。簡単な作業とはいえ、オイル・プラグ・タイヤ等の交換作業など多岐にわたる経験をさせてもらっている。
- 家城石油・・・・・・・・ガソリンスタンドで働くことで、地元の方との交流が深まっている。
- 田中精肉店・・・・・・・・今年度から接客も任せられ、充実している。
- マックスバリュ志・生徒の進路希望に合わせた業種対応をいただいている。
- わんわん美容モール・トリマー作業の手伝いを行っており、犬も実際に触らせてもらっている。生徒も熱心でお店も喜んでくれている。

【学校運営協議会委員より意見および感想など】

- 白山高校は就職率が高く、在学中の社会との繋がりは大切である。インターンシップを行うことで、進路に対して自信が深まり、将来探しにも役立つ。生徒も落ち着いているので、良い就職を期待している。インターンシップを行うことは、先生方にとっては大変なことであるが、よろしく指導願いたい。
- 高校生が真剣に取り組んでいる姿を拝見した。就職のために、嫌な顔一つせず作業をすることは、今後の就職に必ず役立つ。
- 中学校では、3日間の短期で行っている。高校生は長期間行うことで、仕事も覚え、人との繋がりも持てる。事業所が事前に準備いただいている内容には「片付け」など、どの仕事にも必要な重要な要素が含まれている。
- 初めての見学だったが、生徒が職場に溶け込んでいてすごく良かった。インターンシップは、社会に出る前の体験として、とても大切なことだと思います。私自身も、今までいろいろな体験をしてきてよかったので、高校生には体験の重要性を理解してほしい。
- 生徒一人ひとりのキャリア教育として結び付けるのに、マッチングさせるのに何をしているのか。
 - ・各実習先の担当教員から説明を聞き、希望をとっている。友人同士での選択にならないように注意している。
 - ・友人の影響での選択をマイナスにとるのではなく、自分の興味以外のことを経験する機会と捉えることも良いかもしれない。
- とても表情が良く、挨拶も生徒の方からしてくれた。これは、地域の方々にお世話になることで培われたものではないか。週一回、一時間半足らずの時間だが、事業所の配慮や準備でとても良い実習内容になっており、どの生徒も満足している。時間が短いことは、授業の中なので致し方ないが、事業所には深く感謝している。生徒が、すぐにできない作業もあるが、繰り返し積み重ねることで自信に繋げてほしい。このようにインターンシップは良い取組ではあるが、実習先が少ないことが課題である。委員の皆さんにご紹介いただけるとありがたい。
- 長期休業中などアルバイトをしている生徒はいるのか。
 - ・何人かいる。許可制でアルバイトを認めている。それ以外の期間は土日だけ、特別アルバイトとして認めており、家庭の事情など基準をクリアしていないと認められない。
- アルバイトしている生徒数はどれぐらいいるのか。
 - ・今年は多く、30名くらいである。去年は10名ほどだった。
- アルバイトが就職に結びつくことはあるのか。
 - ・基本的には関係はない、アルバイトの理由が家計の状況や自動車学校に入校するためのものが多い。

●アルバイトが生徒の問題行動や退学に繋がることはあるのか。

・今は、そんな傾向は見られない。強いて言えば、無断でアルバイトをしていることでの悪影響はあるかもしれない。

○年間19回で今回8回目だが、生徒も事業所に溶け込み活動ができている。生徒の取り組む姿勢も良いと思うが、事業所の丁寧な対応や準備があるのだと感じている。白山高校のこれまでの取り組んできた実績だと思う。

○事業所の方も、生徒の受け入れに慣れてきたので、生徒対応がとても良いのではないかと。新しい事業所にはインターンシップの主旨など明確に伝えて、事業所と学校的意思疎通がとれるようにしていくことが大切である。

(2) その他

特になし。

4 連絡事項

(1) 次回の日程について

10月30日(水)18:00～ 全体会議(会議室)

(2) その他

特になし。